

学校法人 内丸学園
盛岡幼稚園

園報

第 262 号
(9 月)
2022

創立百十五周年の節目を迎え

学校法人内丸学園 盛岡幼稚園 理事長 坂本 洋

コロナ禍第七波の終息兆しを期待する一方、大型台風被害状況が気になるこの頃です。本年当初の所信は、盛岡に初めての幼児教育施設・盛岡幼稚園が創立されて百十五周年の節目となり、初代園長ミセス・タツピング先生の建学の精神を初心に還り、振り返り点検を職員皆で共有することを確認しました。

節目を迎える事業は、このところ社会情勢や法改正の変化が急速であることから十年見直しでは対応遅速であり五年点検で行うこととしました。またコロナ禍のため三密回避の徹底から記念集会行事等は出来るだけ避けることから、教育環境の整備を主に

また百十周年以降の保育指導内容のまとめ確認と課題、更には現状報告を中心に編集する記念誌発行を決定しました。

教育環境の整備は、現園舎建築設計の久慈設計事務所に依頼して、建築後の十七年の劣化点検と補修を軸に屋上の全面防水張替え、外壁の劣化点検補修と全面塗装。更には教育・保育充実の内部整備として要望改修工事三十項目以上の整備となり、具体的工事入札は高光建設により本年中の工事完了を目指しております。記念誌の発行は、各職員所管事項に基づきここ数年間の実績内容のまとめを原稿とし、(株)吉田印刷さんに発注し初校が出来上が

り現在校正内容作業を進めております。

さて創立以来の百十五年の流れを改めて振り返りますと、創立以来の約三十年間は米国のキリスト教婦人バプテスト外国伝道協会による運営資金で歴代園長は協会より派遣された伝道師が務められる運営。その後の三十年は、険悪な国際情勢による状況、

国家総動員法(昭和十三年)制定で戦時国家一途の太平洋戦争突入による米国伝道協会からの運営資金補助打ち切りによる、日本人初の佐藤トク第九代園長運営となります。佐藤トク先生は、初代タツピング園長時代から保母資格で実務経験に従事しており、

その後の園長としての就任は、戦中、戦後復興の幼稚園経営は苦難の連続でした。その支援、支えとなったのは保護者会であり同窓生会の存在であったことが創立六十周年記念誌に記載されております。

継続する第十代安村三郎園長就任は、その後の私学教育は学校法人化による運営であることに尽力され、昭和四十五年二月学校法人認可となり、幼児期の教育施

設運営体制が確立しました。従って法人化前の約六十年間と以後の五十数年間に大別できます。法人化後の五十数年の運営変遷も当時の社会経済変動や子育てに対する価値意識の変化により一筋縄ではないものがあり、その状況は百周年、百十周年記念誌に詳記しております。

ともあれここ数十年の変化でも、子ども・子育て新制度による幼保一体化の促進や保護者負担保育料無償化実現、そして令和五年度から子ども家庭庁の創設の義務教育就学前の幼児の教育・保育環境及び質の一層の充実が図られる状況です。

私も、初代園長ミセス・タツピングの建学理念、型にはめない個性を大切に、主体的表現・労作活動を重視(自ら学ぶ姿勢)、保育活動は家庭と協同。創立以来の一貫した精神をこれからも大切に守り育てて行く所存です。





115周年 運動会 特集!!



「元気に宣言！」

Aクラス最後の運動会！

Aクラス 担任 坂本 千夏

盛岡幼稚園、秋の一大行事である運動会。Aクラスのみんなにとって最後の運動会が終わりまりました。Aクラスが参加したのはずっと憧れていたバルーンとリレーでした。「Aクラスだからこそできること」であり、みんなができる喜びを感じながら、かつこよくできるように、一位を取れるようにと練習を毎日頑張ってきました。バルーンは触れることも初めてな子ども達。始めは波を立てたり、膨らませたりと楽しみながら技をやりました。リレーは練習の時から真剣勝負！負けると悔しくて泣いてしまう子もいましたが「どうしたら速くなるか」など作戦をみんなで作え、悔しさをバネにする姿に成長を感じていました。

いよいよ本番！32人全員で迎えることができました。Aクラスは運動会で一人一役係がありました。『開会宣言』『お祝いの言葉』『体操リーダー』『園旗』『閉会宣言』『司会』・・・どの係も、堂々と練習の成果を発揮していました。バルーンでは、Aクラスみんなの気

持ちを一つに、楽しみながら演技することができました。最後に「一二五周年おめでとう！」の掛け声とともに大きな拍手に包まれた子ども達は達成感に満ち溢れていたと思います。リレーでは、練習よりも長い距離を最後まで走りきりました。みんなが金メダル！よく頑張りました！

みんな輝いていた運動会！

Bクラス 担任 齋藤 由紀乃

2学期の大きな行事の一つ「運動会」を毎日楽しみにしていた子ども達！

Bクラスが参加した競技はかけっこダンスです。昨年はDVDでミニ運動会を見ていただきました。子ども達も私達もお家の方に今年こそは！実際に見てもらえることを楽しみにしながら練習に取り組んでいきました。

当日、練習とは違う場所に緊張している表情で園児席に来た子ども達も居ました。Bクラスの子ども達にとっては初めての運動会だったので緊張しているのも当然だったと思います。「かけっこ」では、少しだけ障害物を取り入れ、ゴム飛びやフラフープをくぐって走り



「ほくらは小さな海賊だ♪」

ました。本番は園庭での練習より長い四〇メートルを走り切りました！競争という意識が出てきたり、長い距離も最後まで走りきる姿にまた一つ大きくなったように感じました。リズム「ぼくらは小さな海賊だ！」では、自分で作った双眼鏡をつけ、海賊になりきって踊りました。緊張しながらも堂々と踊っている可愛い海賊をお見せすることができて良かったです。Bクラス全員での参加とはなりませんが、みんなが一つの目標に向かって取り組むことができました。今年の経験が来年のAクラスへとつながるといいなと思っています！



みんなで「ポポポポポーズ！」

盛岡幼稚園 創立 運動会

みんな よくできました！

★ C2クラス 担任 石田 雪乃

「運動会って知ってる？」と聞く
と「……？」とまだピンとこない子
ども達でしたが、「お家の人も見に
くるよ」という言葉に大喜び！は
りきって練習に参加していました。
練習といってもC2クラスにとつて
は遊びの延長線上。遊びの中で体
操やリズムの曲が流れると得意げ
に踊り、他のクラスに披露してい
ました。かけっこも線から線まで
走れることを覚えると、スタートか
らゴールへ、また戻って……と友達
と一緒に何度も楽しみました。

ワクワクしながら迎えた当日。

初めての場所に緊張している子も
いましたが、子ども達の力を信じ、
「応援しているよ！」と笑顔で預け
ていただいた保護者の皆様に感謝
です！大好きな人からの応援を力
に、いよいよ開会式、そしてかけっ
この時間がやってきました。園庭
より遠くにあるゴールを目指し一
生懸命走る背中をみて、また一つ
成長を感じました。リズム『ポポ
ポポポーズ』も大勢のお客さんの
前で堂々と踊った姿に拍手です！
最後のポーズも素敵にきまってい

ましたね！

「褒美をもらって笑顔で帰る表
情に達成感も見え、無事に全員で
参加できたこと、最後までやりき
れたことが本当に嬉しいです。こ
の経験が自信となって次の育ちへ
とつながり、来年はきつと「運動
会ってね……」と意気揚々と答えて
くれるはず……と期待しています！

運動会がんばったね！

★ つばみクラス 担任 高橋 来夢

9月当初は「うんどうかい」と
言われてもどういったものか分
からず「？」がいっぱいの様子だっ
た子ども達。開会式練習に参加し
たり、好きな遊びの時間に踊った
りするうちにだんだんと運動会に
向けて気持ちが動き出していまし
た。練習が始まり、入園当初は
歩くだけでも精一杯だった子ども
達が「よいいどん」の合図でゴー
ルに向かって走る姿や音楽に合わ
せて自分なりに手足を動かしてダ
ンスをする姿に成長を感じました。

また、可愛く飾られた自分の衣装
を指さして「みてみて！」と嬉し
そうにする姿もあり、大好きなお
父さん、お母さんが作ってくれた
衣装という温かみを感じられたこ

とも大切な時間だったと思います。

運動会当日はいつもと違う場所
に戸惑い、緊張した様子の子ども
達。それでも、泣かずに参加した
りダンスの衣装を着てその場に
いるだけでも運動会の雰囲気を楽し
むことが出来たのではないかと思
います。保護者の皆さまの声援、
御協力のおかげで子ども達も最後
まで頑張ることが出来ました。人
との関わりや行事なども制限され
ている環境の中で「うんどうかい」
という大きな行事を経験できたこ
とはこれからの育ちにも繋がって
いくことでしょう。今後ますます
しく育っていく姿を温かく見守り、
支えていきたいと思います。



「親子でよいいドン！」

一学期の生活・行事から

★第一一五回入園式（4月8日）

保育部からの進級児と新入児の子ども達がエプロンをつけて盛岡幼稚園の仲間入りをしました。緊張していた子ども達でしたが年長児が歌う園歌を聞いて緊張がほぐれたようでした。「明日から待ってます。一緒に遊ぼうね」の年長児の言葉が印象的でした。

★対面式&園内めぐり（4月14日）

幼稚園部の園児がホールに集まり対面式を行いました。年中児は歌のプレゼント。年長児は園内めぐりに使う卵型のカードをプレゼントし、イースターの卵と一緒に探しながら園内めぐりをしました。年長児と年少児はこれをきっかけに登園時や遊びの場面で異年齢でかわって遊ぶ機会が増えました。

★タッピングの畑（5月25日）

三ッ割にある当園の畑は創立一〇〇周年の記念事業で作られたものです。毎年、年長児がさつまいもの苗を植え付けに行きます。畑を管理している熊谷さんは事業

の立ち上げからお世話になってます。収穫後は園庭で焼き芋会をし、全園児でいただきます。

★花の日礼拝（6月7日）

3年ぶりにご家庭からお花を持ち寄り、幼稚園部は内丸教会の洋子牧師と一緒に礼拝を行ないました。礼拝後、幼稚園部は内丸教会を見学。保育部は給食を作ってくれる職員にそれぞれ感謝の気持ちを込めて、お花をプレゼントしました。

★保育参観（6月9〜13日）

幼稚園部では3年ぶりの保育参観でしたが感染対策のため参観時間を短縮して行いました。短時間でしたが園での様子を見て頂きました。保育部は懇談会を行い、入園からの子ども達の様子や今後の育ちについて保護者の方と共有する時間を持ちました。

★プラネタリウム・子ども科学館見学（6月30日）

夏の星座に関心を持ったり、科学の不思議さを感じることでできました。科学館ではいろいろなも

のに興味を持って、友だちと楽しそうに体験していました。

★お楽しみ会（7月16日）

年長児のドキドキわくわくの“お楽しみ会”。夕方に登園するとあって、子ども達はお迎えの時間まで大興奮！前日に準備（野菜をカット）したものを調理してもらい皆でカレーライスを食べ、また観察園で収穫した野菜を使ってサラダも頂きました。夕食後は子ども達に内緒にしていたホールでの“お楽しみ”（毎年、先生たちが趣向を凝らします）今年は宇宙&星の世界をテーマにゲームが行われました。園庭で見た打ち上げ花火もきつと子ども達の思い出に残ることと思います。

★運動会（9月17日）

秋晴れの天気のもと、運動会が行われました。運動会に先立ち、年長児の代表が創立一一五周年の「お祝いの言葉」を述べました。全園児揃っての仁王小学校での開催は3年ぶりとなりました。初めての場所に緊張や不安いっぱいの子ども達も運動会終了時は笑顔が見られました。年長児は一人一役の係りもしっかりと年長児らしく努めてくれました。

編集後記

朝夕の涼しさと共に園庭にあるどんぐりができ始め、秋の訪れを感じます。日々、様々なことに興味関心をもつて成長する子ども達ですが、一つの目的に向かって力を合わせる活動のなかでも運動会は更に成長のきっかけを作りまます。例年通りの運動会とはいきませんでしたが、この時期に経験してほしいことを各学年ごとにねらいを持って取り組みました。初めて運動会を経験する子ども達も一つのことに向かって友だちと力を合わせる楽しさや心地よさ、達成感を味わうことができました。また成長に伴ってどんどん広がるつながりを大切に、これからも一人ひとりを見守っていききたいと思えます。

学校法人 内丸学園

幼保連携型認定こども園

盛岡幼稚園

〒〇二〇〇〇二一

盛岡市中央通一六―四七

TEL 六二二―二三〇一

理事長 坂本 洋